様式１

財　務　諸　表　（個人用）

※　確定申告時の損益計算書・貸借対照表の写しを添付してください。

貸　借　対　照　表

（単位：千円）

科目＼期	自　年　月 至　年　月	科目＼期	自　年　月 至　年　月
現　金　預　金		支　払　手　形	
受　取　手　形		買　掛　金	
売　掛　金		短　期　借　入　金	
有　価　証　券		未　払　金	
商　品		未　払　費　用	
材　料　貯　蔵　品		預　り　金	
その他流動資産		その他流動負債	
貸　倒　引　当　金	△	**流　動　負　債　計**	
流　動　資　産　計		長　期　借　入　金	
建　物・構　築　物		その他固定負債	
機　械　装　置　類		**固　定　負　債　計**	
車両・運搬具類		純資本金（元入金）②	
工具器具・備品		事業主借勘定　③	
土　地		事業主貸勘定　④	△
その他固定資産		当　期　利　益　⑤	
固　定　資　産　計		（当期損失）⑤’	△
繰　延　資　産			
合　計①		**合　計⑥**	
		次年繰越純資本金⑦	

【点検事項】

※　次年繰越純資本金：⑦＝②＋③＋⑤－④　又は　⑦＝②＋③－⑤’－④

※　貸借対照表の合計は、左右同額：①＝⑥

損　益　計　算　書

（単位：千円）

科目＼期	自　年　月 至　年　月	科目＼期	自　年　月 至　年　月
売　上　原　価		**商　品　売　上　高**	
販売費及び一般管理費		兼　業　売　上　高	
小　計（B）		**小　計（総売上高）**	
営業外費用（C）		営　業　外　収　益	
当　期　利　益（D）		（当期損失）（D’）	
合　計（E）		合　計（A）	

【点検事項】

※　当期利益（当期損失）

①　D＝A－（B＋C）：この値がマイナスとなる場合は、当期損失D’に記入

②　損益計算書の額と貸借対照表の額は同額：D＝⑤、D’＝⑤’

※　損益計算書の合計は、左右同額：E＝A

様式1参考資料

流動資産	現金預金	現金、小切手、送金小切手、送金為替手形、郵便為替証書、当座預金、普通預金、郵便貯金等	流動負債	支払手形	営業取引に基づいて発生した手形債務
	受取手形	営業取引に基づいて発生した手形債権(割引いたものがある場合は割引高を控除)		買掛金	通常の取引によって発生した営業上の未払額
	売掛金	通常の取引によって発生した営業上の代金の未収額		短期借入金	履行期が決算期後1年以内に到来する借入金又は到来すると認められる借入金(金融手形を含む)
	有価証券	取引所の相場のある株式及び社債(国債、地方債その他の債権を含む)で決算期後1年以内に処分する目的で保有するもの		未払金	物件購入代金等の未払金で履行期限が決算期後1年以内に到来すると認められるもの
	商品	販売の目的で他から仕入れた商品の棚卸高		未払費用	未払給料手当、未払利息等継続的な役務の給付を内容とする契約に基づいて決算期までに提供された役務に対する未払額
	材料貯蔵品	製品を製造するために使用する材料及び消耗工具並びに事務用消耗品等の棚卸高		預り金	営業取引に基づいて発生した預り金及び従業員からの預り金
	△貸倒引当金	受取手形、完成工事未収入金等流動資産の部に属する債権に対する貸倒見込額を一括して記入すること	固定負債	長期借入金	短期借入金以外の借入金
固定資産	建物・構築物	営業用として使用している建物、構築物の期末帳簿額 (住居と併用している場合は営業用に使用している坪数の全坪数に対する割合で按分した額を記入すること。借用している建物は含まない)	資本	純資本金(元入金)	前年末の次年繰越純資本金(元入金ともいう)
	機械装置類	営業用として使用しているプレス機械、せん盤、工作機械類及び船舶並びに自動車等の期末帳簿額		事業主借勘定	事業主が営業外資金から事業のために借りたもの(事業主個人の資金を出資したもの。すなわち元入金に属するもの)
	車両・運搬具類			△事業主貸勘定	事業主が営業の資金から家事費に充当した金額
	工具器具・備品	各種の工具、器具、備品で耐用年数が1年以上であり、取得価額が相当額以上であるものの期末帳簿額		当期利益(△当期損失)	当年利益金(当年損失金)
	土地	営業用として使用している土地で、借地は含まない			
繰延資産		開発費、試験研究費等の期末帳簿額			
合　計		左右の合計は必ず一致すること	合　計		左右の合計は必ず一致すること
			次年繰越純資本金		次年の純資本金(元入金)となる